

波宜亭倶楽部代表 野本文幸さん

にあった茶店を題材にし現在のるなぱあく敷地内明治から大正にかけて、 根 つ ے 見 つ め直そう

は臨江閣やその南側のひょう郎が残しています。この周辺て、「波宜亭」という詩を朔太

城東町四丁目・56歳

かな文化を再発見しながら、長い年月のうちに培われた豊波宜亭を復元することを核に、 の地を訪ねる街中ツア江閣での催し、朔太郎 史を今に伝える貴重な場所。たん池、フジ棚など、古い歴 地域の活性化や発展に寄与す るため取り組んでいます。 「郷土望景詩」の連続講座、 リンとギタ れた豊

うか。

はならないのではないでしょ後世に長く残していかなくて

市民共有の財産だと思います。 た前橋にとって大切な場所は

で暮らしています

いきたい

大学時代以外はずっと本市 朔太郎ゆか による臨

も実施してきま

17月の足跡を残している場所は市内に多くあるんです。現在につながるゆかりのす。現在につながるゆかりのに生かせないだろうかと、いに生かせないだろうかと、いいた生がせないだろうかと、いろな職業のメンバー百二 も、朔太邪りむ下・…。今は形をとどめていなくて

と思います。とのつながりな と活動しています。の間に根付かせてい をもう 分自身を大切にできな を大切にできない人はともいえるでしょう。 を構成する一部、「根っこ」と思います。いわば、自分 皆さんも「市民の 度見つめ 自分の いわば、自分りを持っている い人は、

人自れ

根っこ」

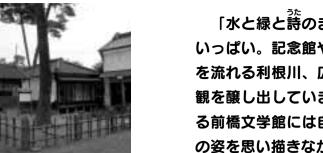
ませんか



②前橋文学館



①萩原朔太郎記念館



「水と緑と詩のまち前橋」には萩原朔太郎の足跡が いっぱい。記念館や生家跡碑、詩碑など、市内中心部 を流れる利根川、広瀬川の風情とともに詩情豊かな景 観を醸し出しています。また、朔太郎研究の拠点であ る前橋文学館には自筆原稿などの資料も。偉大な詩人 の姿を思い描きながら、散策してみませんか。







③「帰郷」詩碑



④「利根の松原」詩碑



⑤「広瀬川」詩碑



⑥「新前橋駅」詩碑

